

1 題材名 「Program6 Let's Talk about Things Japanese.」

2 題材について

(1) 題材観

①コミュニケーションの観点から

本題材は、マイクが美術の授業で「鳥獣戯画」に興味を持ち、それが日本の漫画の原点であることを知って驚いたことや、由紀が日本の伝統的なおもちゃであるけん玉を紹介し、ヨーヨーと比べている場面である。さらに武史と由紀がマイクを町内のお祭りに案内するというように、日本の文化をどのように英語で表現し、伝えるかが取り上げられている。

本校ではELTが常勤しており、常に英語でコミュニケーションできる恵まれた環境にある。生徒とELTは、互いに自国の伝統文化や食文化などに関する話題を取り上げながら、ELTの住むイングランドについて聞いたり、日本独自のものをELTに紹介したりして、Listening, Speakingなどの学習活動の充実を図っている。

②言語材料の観点から

本題材では、「現在分詞、過去分詞の後置修飾(形容詞的用法)」を学習する。分詞の後置修飾を学習する以前に、前置詞句や不定詞の形容詞的用法を学習しているが、名詞を後ろから修飾するという表現は日本語にはないので、生徒にとってはやや難しい文法事項である。現在分詞(～ing)の後置修飾では、「今、何かしている人や物を詳しく説明する」こと、過去分詞(p.p)の後置修飾では、「何かされたものを詳しく説明する」ことなどの習熟をねらいとしている。生徒が理解を深めることができるよう、すでに学習している現在進行形や受動態との違いに触れつつ、現在分詞(～している)と過去分詞(～される)には名詞を後ろから修飾するという働きがあることを様々な例文を示すことにより導入していく。その際、絵や写真を用いたり、カルタ取りなどの活動を取り入れたりと指導方法を工夫していきたい。

③国際理解の観点から

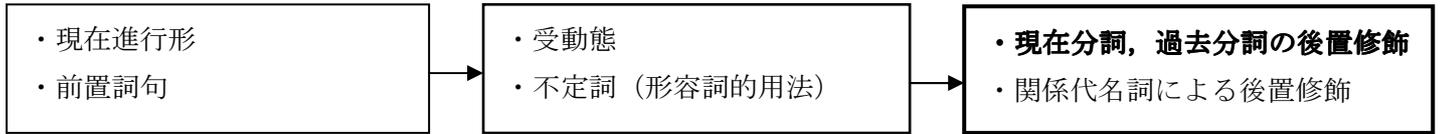
生徒は、5月の修学旅行時に、英語の授業の一環として「Kansai Challenge」という、旅行先で外国人に話しかけるという活動を行った。外国人旅行者に話しかけ、学校の住所が書かれた名刺とポストカードを渡し、サインをもらう活動である。生徒の感想には、「習った英語が通じてうれしかった」「英語圏以外の外国人にも英語が通じた」など、自分達の学習した英語が使える言葉であり、返信されたポストカードを見て、外国の文化や建造物に興味を持った生徒もいた。本題材では、「日本文化を外国人に紹介する」というテーマで、日本独特のものについて外国人にわかりやすく伝えるために、適切な表現の仕方を学習する。そこで、ELTの国の伝統的な行事や食文化に関する紹介を聞き、異文化への興味・関心・理解する気持ちを持たせたい。また、ELTのプレゼンテーションを参考にして、ELTへの「日本の文化紹介」の活動を取り入れたい。そして、ポストカードをくれた外国人に日本文化紹介のポストカードやメールを送るといった活動にも発展させていきたい。

(2) 指導内容の系統

(中学校 1 年生)

(中学校 2 年生)

(中学校 3 年生)



(3) 生徒の実態

① 学級集団の実態 (男子 14 名 女子 15 名 計 29 名)

本学級は明るく元気な生徒が多い。授業中の発表も多く、学習した定型表現を使ったコミュニケーション活動には意欲的に取り組むが、絵を見て英語で説明したり、自由に表現したりするコミュニケーション活動になるとやや苦手な生徒が多い。そこで、ペアワークや 3～4 人の小グループでの活動を通して一人一人の発話の機会を増やすなど、学習形態の工夫をして授業を展開したい。そして、間違いを恐れずに学習に取り組むなど、自信を持たせられるよう声かけをする。さらに、英語を使って表現しなければならない場面設定や、「英語は間違えて上達する、間違いを恐れるな」をモットーに学び合う場を多く作っていきたいと考えている。

② 題材に関わる実態

学習前のアンケート調査の項目と集計結果は次の通りである。

調査人数 28 名 調査実施日 平成 25 年 9 月 9 日 ※ () の数字は人数

- (ア) 英語を勉強する必要があると思いますか? はい (18)・どちらでもない (9)・いいえ (1)
(イ) 英語の授業に積極的に取り組んでいますか? はい (22)・どちらでもない (6)・いいえ (0)
(ウ) 次の日本語に合うように、() 内の単語を並び替えて英文を作りなさい。

この男の人は太郎です。(man, Taro, is, this)

正答 This man is Taro. (19) 誤答例 This is man Taro. (8) Taro is man this. (1)

- (エ) 次の動詞を～ing をつけて現在分詞にしなさい。

(例) play → playing

- (1) read → 正答 reading (26) 誤答例 reaing (1) readeing (1)
(2) study → 正答 studying (13) 誤答例 studing (14) studied (1)
(3) take → 正答 taking (20) 誤答例 takeing (7) taking (1)
(4) swim → 正答 swimming (17) 誤答例 swiming (11)

- (オ) 次の英文の下線部を訳しなさい。

He is running in the park. → 彼は公園内を()ところです。

正答 走っている (19) 誤答例 (走った, 走り回った, 走る, 走っていた, 歩いていない)

<考察>

英語学習に関して、64パーセントの生徒が英語を勉強する必要があると答えている。これは、私生活において、身の回りに英語が溢れていることや、修学旅行先で行った Kansai challenge で、日本にたくさんの外国人がいることを実感したからではないかと思われる。また、英語に積極的に取り組もうとしていると答えた生徒は79パーセントであった。これは、3年生ということもあり、受験に対す

る意識の芽生えや、苦手意識を克服しようとする意思の表れだと思われる。夏休みの宿題では、わからない箇所について所々に付箋を張って質問したり、単語練習を1日5行（5行ノート）、毎日やってきたりした生徒も多かった。2020年の東京オリンピックの開催決定は、英語のみならず、外国語を学ぶことの重要性を感じとれた出来事ではないだろうか。

文法面では、ほとんどの生徒が第3文型の形は理解できているものの、1年時に習った”This is~”の結びつきが強く残っているのか、29パーセントの生徒が同じ間違いをしていた。動詞の~ingのつけ方について、基本的なルールが理解できていない生徒が見受けられた。現在進行形においては、”run”という意味は理解できているものの、現在進行形(~している最中)という意味が理解できていない生徒が32パーセントいた。ドリル学習で、現在進行形の使い方を定着させたいと考えている。現在分詞の作り方は、口頭練習するとともに、現在分詞の作り方のルールを再度確認し、理解させたい。

3 目標

- (1) 文化や伝統に関する対話やスピーチを読んだり聞いたりして、内容を理解したり、日本の伝統文化について英語で紹介することができる。(理解・表現の能力)
- (2) 現在分詞、過去分詞による後置修飾の用法を理解し、それらを用いて適切に運用することができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度、言語知識)

4 指導計画 (本時1/7)

学習目標	時数	学習内容	評価の観点・評価方法
・現在分詞の後置修飾を使って身近な場面を説明できる。	1	・現在分詞 (~ing) の後置修飾が用いられた文を理解し、口頭練習を行う。	・現在分詞の後置修飾の文が理解でき、ゲームに意欲的に参加できる。【言語】【関心】
・教科書本文(6-1)の内容を理解することができる。	1	・本文の内容を理解する。 ・身の回りのものについて表現する。	・本文の内容を理解することができる。(観察) 【理解】
・過去分詞の後置修飾を使って身近な場面を説明できる。	1	・過去分詞 (p.p) の後置修飾が用いられた文を理解し、口頭練習を行う。	・現在分詞の後置修飾の文が理解でき、ゲームに意欲的に参加できる。【言語】【関心】
・教科書本文(6-2)の内容を理解することができる。	1	・本文の内容を理解する。 ・身の回りのものについて表現する。	・本文の内容を理解することができる。(観察) 【理解】
・教科書本文(6-3)の内容を理解することができる。	1	・本文の内容を理解する。 ・絵を見て日本のものを説明する。	・本文の内容を理解することができる。(観察) 【理解】
・現在分詞・過去分詞を使って外国人に日本のものを紹介できる。	2	・現在分詞・過去分詞を使ってELTに日本独特のものを紹介する。	・本課で学習した文法を用いて、ELTに日本のものを紹介できる。【関心】【表現】

5 本時の指導

(1) 目標

現在分詞の後置修飾を使って身近な場面を説明できる。

(言語知識、コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 研究との関連

- (1) 言語の使用場面や働きを念頭に置き、場面設定の導入を工夫すれば、生徒は興味を持って学習に取り組み、既習事項を使って表現するようになるだろう。
- (2) 学習形態を工夫し（ペアやグループでの活動）繰り返し学習をすれば、基礎・基本が身につく、意欲的に取り組むだろう。

英語科では、「英語学習の基礎・基本」を文法・語彙などの知識だけではなく、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成の場としても捉えている。口頭練習や小テスト、ドリル学習だけでなく、英語の実際の使用場面や言語の働きを念頭に置き、場面設定の工夫をしている。

本題材では、絵や写真を用いたり、修飾される語と修飾する部分は色を変えて提示したりして、生徒が使用場面を容易に想像できるよう導入を工夫して、授業を展開する。後置修飾は英語の特徴であり、日本語と大きく異なることにも触れ、授業中に使用する英語も意識的に後置修飾を用いることで、後置修飾の語順に耳から慣れさせたい。また、授業の中で生徒同士での情報交換や、助言する場面など「考える」「想像する」「助け合う」学習の場を繰り返し展開したい。

(3) 展開 (1/7)

学習活動と内容	時配 形態	指導上の留意点・評価 留意点 (・) 評価 (◎)	資料 教具
<p>1 挨拶(warm-up)をする。</p> <p>Good morning class. How are you? etc. -----</p> <p>T: What were you doing around 9 o'clock last night? S: I was watching TV. -----</p> <p>2 本時の学習問題を理解する。</p>	<p>3分 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をし、英語を学習する雰囲気を作る。 ・昨日の9時頃何をしていたか? 過去進行形の文で答えさせる。 	
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現在分詞の後置修飾を使って人や動物を説明しよう。</p> <p>J: Come in, Emily. This is teachers' room. E: Wow! There are many desks! Jackson! Who is that man? J: You mean the man using a computer? E: Yes. J: <u>The man using a computer is Mr. Kosukegawa.</u> E: Oh, I see. Who is the woman reading a book? J: <u>The woman reading a book is</u></p>	<p>14分 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画面に職員室の写真を映し、録音した Jackson と Emily の会話を流すことで、場面を想像させながら集中して聞かせる。 ・スライドショーを使い、場面ごとに写真を変えることで理解の一助とする。 ・2回ほど録音した会話と映像を繰り返して、生徒の理解度を確認する。 ・3回目はキーワードを画面の上部に表示し、現在分詞の後置修飾が使われているところは空欄を設け、注意して聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・パソコン

<p><u>Ms. Yamada.</u></p> <p>-----</p> <p>J: Later, I'll introduce you to all teachers.</p> <p>E: OK. Thank you.</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞が後ろからすぐ前の名詞を修飾していることに、 using a computer に色をつけて掲示し、気づかせる。 ・別の動作をしている写真を掲示し、後置修飾のパターンに慣れさせる。 	
<p>4 カルタ取りゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する絵カードの内容を英語で表現する。 ・カルタ取りゲームを行う。 <p>the cat sitting on the table. the mouse running into the hole.</p> <p>-----</p>	<p>10分 グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5～6人組のグループに分かれ、ゲームを行うことを指示する。事前にグループのメンバーは能力差が大きくなりすぎないように考慮する。 ・英語で絵について描写する口頭練習を十分に行ってからゲームを始める。 ・実物投影機を用いて正解の絵を画面に映す。 ・1回戦目は教師が読み手で行う。2回戦目は各グループの1回戦の勝者が読み手となり、絵の内容を英語で説明するよう指示する。 <p>◎現在分詞の後置修飾の文を理解し、それを使って積極的にゲームに参加できたか。</p> <p style="text-align: right;">(観察・発表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタ ・電子黒板 ・実物投影機
<p>5 単語パズル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面に映された画像をみて、その画像について単語シートの語を使って、現在分詞の後置修飾の文を完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ The man playing tennis is Mr. Tsuruoka. ・ The woman practicing Judo is Ms. Nagashima. 	<p>15分 グループ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに写真の内容を表現するために必要な語が書かれたシートを配る。 ・画面に写真をスライドショーで表示する。 ・英語の苦手な生徒でも学び合える場となるように、グループでの活動を通して、1人1人が英語に触れる機会を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語シート ・ワークシート ・電子黒板 ・パソコン
<p>6 本時の学習のノート整理をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞の後置修飾の文(板書)をノートにまとめ、さらに自己表現で一文書く。 	<p>8分 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業を振り返らせることにより、今日何を学習したのかを再確認させる。 <p>◎現在分詞の後置修飾を使って自己表現できたか。</p> <p style="text-align: right;">(ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英ノート

(4) 板書計画

Program6 Section1	Thursday, October 3 rd sunny
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">現在分詞の後置修飾を使って人や動物を説明しよう。</div> <p style="margin-left: 100px;"> <u>The man</u> using a computer is Mr. Kosukegawa. ↑ </p> <p style="margin-left: 100px;"> <u>The woman</u> reading a book is Ms. Yamada. ↑ </p>	